

授業科目等の概要

(衛生専門課程理容学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	理容師の業務に関する法規・制度について学ぶ。	2	30	1	○			○		○	○	
○			衛生管理	理容師に必要な公衆衛生および環境衛生等について学ぶ。	1 2 通	90	3	○						○	
○			保健	理容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪などの付属器官の構造等について学ぶ。	1 2 通	90	3	○					○	○	
○			化粧品化学	理容業務を安全かつ効果的に行うための正確な科学的知識と理容器具や香料などの適正な取り扱いについて学ぶ。	1	60	2	○		△				○	
○			文化論	顧客であるお客様の満足度を上げるため、デザイン力に必要な文化的知識及びファッション文化を研究し、感性、感覚を磨く。	1	60	2	○						○	○
○			理容技術理論	理容技術についての知識を衛生的、能率的に実施する方法を学び、理論的根拠を与え、技術の習得を容易にする。	1 2 通	150	5	○						○	○
○			運営管理	理容を業とする者に対する必要な経営管理、健康管理、接客、マーケティングについて学ぶ。	1	30	1	○						○	○
○			理容実習	理容師の業務を安全かつ効果的に実施する技術を学び、基本的なサロンワークを体得することを目的とする。	1 2 通	900	30	△		○				○	○
	○		特別教育活動	理美容の現場で活用できる外国語やヘアデッサンに必要なデッサン・ヘアスタイル画の書き方の習得、身体機能や運動機能を学ぶ体育活動などを通して幅広い知識を学ぶ。	1 2 通	90	3			○				○	○
	○		スペシャル授業	高齢化社会に対応した福祉理美容やサロン経営、着付けなど、サロンワークで役立つ実践的なカリキュラムを幅広く学ぶ。	1 2 通	60	2	○							
	○		エステティック	心身の健康と美の実現を目的とし、科学的事実と合理的思考に表現されたエステティック技術を学ぶ。	1	60	2	△		○				○	○

○	ネイル	ネイル施術時の衛生管理とネイルケアを理解し、ネイルアートやジェルネイルの基本を学ぶ。	1	60	2	△	○	○	○
○	メイクアップ	顔の骨格や輪郭を理解し、基礎のメイクアップ技術とメイクアップ技術において用いられる主な器具の基本的な使用方法を習得する。	2	60	2	△	○	○	○
○	ヘアモード	造形、色彩、服装などに関する基礎的な知識を基に、顧客の個性、服装、その他環境に合ったデザインを学ぶ。	1 2 通	90	3	△	○	○	○
○	接客接遇	社会福祉の知識を学び、理容美容の仕事を通して社会貢献できる人材を育成するとともに、社会人に求められる常識的な心得を十分理解させ、マナーに対する知識、態度、技能を身につける。	1 2 通	60	2	○	△	○	○
○	総合技術	基本的技術を基に、さらに発展した高度な技術を修得するとともに、最新技術の修得を目指す。集大成としてヘアショーを開催し観客に披露する。	1 2 通	120	4	△	○	○	○
合計			16科目		2010単位時間(67単位)	

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
必要出席日数の80%以上の出席と進級判定会議での進級決定・全科目履修	1学年の学期区分	3期	
	1学期の授業期間	20週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科)																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			関係法規・制度	美容師の業務に関する法規・制度について学ぶ。	2	30	1	○			○		○	○		
○			衛生管理	美容師に必要な公衆衛生および環境衛生等について学ぶ。	1 2通	90	3	○							○	
○			保健	美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪などの付属器官の構造等について学ぶ。	1 2通	90	3	○						○	○	
○			香粧品化学	美容業務を安全かつ効果的に行うための正確な科学的知識と美容器具や香料などの適正な取り扱いについて学ぶ。	1	60	2	○		△					○	
○			文化論	顧客であるお客様の満足度を上げるため、デザイン力に必要な文化的知識及びファッション文化を研究し、感性、感覚を磨く。	1	60	2	○							○	○
○			美容技術理論	美容技術についての知識を衛生的、能率的に実施する方法を学び、理論的根拠を与え、技術の習得を容易にする。	1 2通	150	5	○							○	○
○			運営管理	美容を業とする者に対する必要な経営管理、健康管理、接客、マーケティングについて学ぶ。	1	30	1	○							○	○
○			美容実習	美容師の業務を安全かつ効果的に実施する技術を学び、基本的なサロンワークを体得することを目的とする。	1 2通	900	30	△		○					○	○
	○		特別教育活動	理美容の現場で活用できる外国語や、ヘアデザインに必要なデッサン・ヘアスタイル画の書き方の習得、身体機能や運動機能を学ぶ体育活動などを通して幅広い知識を学	1 2通	90	3			○					○	○
	○		スペシャル授業	身体の機能や運動機能の理解と筋肉や内臓の働きを学ぶことで、体全体を理解することを目的とする。	1 2通	60	2	○								
	○		エステティック	心身の健康と美の実現を目的とし、科学的事実と合理的思考に表現されたエステティック技術を学ぶ。	1	60	2	△		○					○	○

○	ネイル	ネイル施術時の衛生管理とネイルケアを理解し、ネイルアートやジェルネイルの基本を学ぶ。	1	60	2	△	○	○	○
○	メイクアップ	顔の骨格や輪郭を理解し、基礎のメイクアップ技術とメイクアップ技術において用いられる主な器具の基本的な使用方法を習得する。	2	60	2	△	○	○	○
○	ヘアモード	造形、色彩、服装などに関する基礎的な知識を基に、顧客の個性、服装、その他環境に合ったデザインを学ぶ。	1 2 通	90	3	△	○	○	○
○	接客接遇	社会人に求められる常識的な心得を十分理解させ、マナーに対する知識、態度、技能を身につける。	1 2 通	60	2	○	△	○	○
○	総合技術	基本的技術を基に、さらに発展した高度な技術を修得するとともに、最新技術の修得を目指す。集大成としてヘアショーを開催し観客に披露する。	1 2 通	120	4	△	○	○	○
合計			16科目		2010単位時間(67単位)	

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
必要出席日数の80%以上の出席と進級判定会議での進級決定・全科目履修	1学年の学期区分	3期	
	1学期の授業期間	20週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程トータルビューティー学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			エステティック	心身の健康と美の実現を目的とし、科学的事実と合理的思考に表現されたエステティック技術を学ぶ。	1・2	420	14	△		○	○	○	○	○	○
○			メイクアップ	顔の骨格や輪郭を理解し、基礎のメイクアップ技術とメイクアップ技術において用いられる主な薬品と器具の基本的な使用方法を修得する。	1・2	300	10	△		○	○	○	○	○	○
○			ネイル	ネイル施術時の衛生管理とネイルケアを理解し、ネイルアートやジェルネイルの基本を学び、実際に施設などに赴いて演習を行う。	1・2	300	10	△		○	○	○	○	○	○
○			ブライダル	昨今の多様化する挙式スタイルの様々な内容を学び、実際にセレモニーと披露宴をプランニングする。	1・2	300	10	△		○	○	○	○	○	○
○			ヘアモード	造形、色彩、服装などに関する基礎的な知識を基に、顧客の個性、服装、その他環境に合ったデザインを学ぶ。	1・2	120	4	△		○	○	○		○	○
○			総合技術	基本的技術を基に、さらに発展した高度な技術を修得するとともに、最新技術の修得を目指す。	1・2	360	12	△		○	○			○	○
合計				科目	1800単位時間(60単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
実施授業単位数の8割以上を履修している者(補講含む)各学期末テストにおいて教科ごとの点数が100点満点中60点を満たしている者(追試験・補修を含む)卒業要件とする各種資格を取得していること。・全科目履修	1学年の学期区分	3期
	1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程メディカルビジネス学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			医薬品学	一般用医薬品や薬事関連法規など、医薬品の基本的知識を学ぶ。	1・2	300	10	○	△	○	○		○	○	○
○			医療事務	医療費のしくみを理解し、医療事務ソフトや計算方法を学ぶ。	1・2	420	14	○			○	○	○	○	○
○			調剤事務	薬学一般、保険薬局業の他、サプリメント製造についての基本的知識を学び、実習する。	1・2	180	6	○	△	○	○	○	○	○	○
○			パソコン	ワードの基本的な編集機能と、エクセルの基本的な操作を学ぶ。	1・2	180	6	△	○	○	○			○	
○			ビジネスマナー	社会人に求められる常識的な心得を十分理解させ、ビジネスコミュニケーション全般を学ぶ。	1・2	60	2	○	△	○	○	○	○	○	○
○			ヘルスケア	体の構造や機能の他、健康の維持・増進や予防医学のための知識を学ぶ。	1・2	120	4	○	△	○	○	○	○	○	○
○			ホスピタリティー	介護の知識や高齢者ケアの他、相手が望むサービスを提供できるようなホスピタリティマインドを学ぶ。	1・2	180	6	○	△	○	○	○	○	○	○
○			一般教養	様々なカリキュラムを実習し、社会性豊かな人間性を学ぶ。	1・2	180	6	△	○		○	○	○	○	○
○			試験対策	各検定試験に向けて、模擬試験や補習授業を実施する。	1・2	180	6	○		○	○	○	○	○	○
合計				科目	1800単位時間(60単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
実施授業単位数の8割以上を履修している者(補講含む)各学期末テストにおいて教科ごとの点数が100点満点中60点を満たしている者(追試験・補修を含む)卒業要件とする各種資格を取得していること。全科目履修	1学年の学期区分	3期
	1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。